

# 平成28年度 神奈川区 区民意識調査 報告書

## 概要版

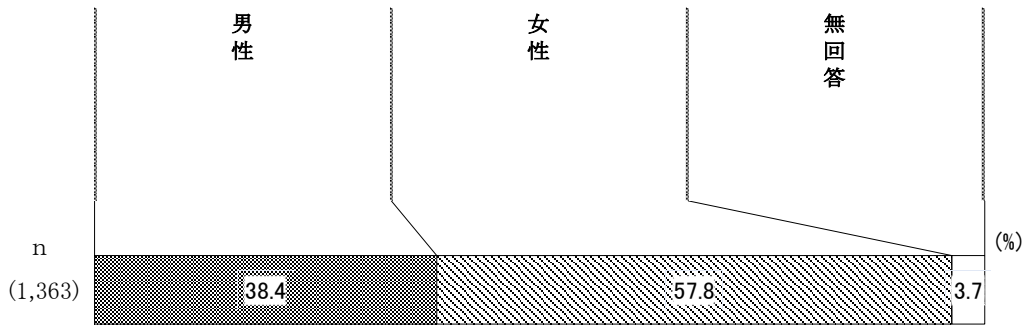
### 調査の概要

調査設計	<ul style="list-style-type: none"><li>◆調査対象 区内居住18歳以上の男女</li><li>◆標本数 3,000人（うち外国人50人）</li><li>◆標本抽出 住民基本台帳からの無作為抽出</li><li>◆調査方法 郵送による無記名調査（郵送配付・郵送回収・ハガキ督促1回）</li><li>◆調査期間 平成28年7月15日（金）～8月5日（金）</li><li>◆有効回収数 1,363人</li><li>◆有効回収率 45.4%</li></ul>												
調査内容	<table border="0"><tbody><tr><td>1 定住意向</td><td>7 ご近所との関わり</td></tr><tr><td>2 現在のお住まいの環境</td><td>8 買い物場所</td></tr><tr><td>3 神奈川区の行政サービス</td><td>9 地域での活動</td></tr><tr><td>4 防災</td><td>10 神奈川区の魅力</td></tr><tr><td>5 健康づくり</td><td>11 あなた自身について</td></tr><tr><td>6 高齢期について</td><td></td></tr></tbody></table>	1 定住意向	7 ご近所との関わり	2 現在のお住まいの環境	8 買い物場所	3 神奈川区の行政サービス	9 地域での活動	4 防災	10 神奈川区の魅力	5 健康づくり	11 あなた自身について	6 高齢期について	
1 定住意向	7 ご近所との関わり												
2 現在のお住まいの環境	8 買い物場所												
3 神奈川区の行政サービス	9 地域での活動												
4 防災	10 神奈川区の魅力												
5 健康づくり	11 あなた自身について												
6 高齢期について													

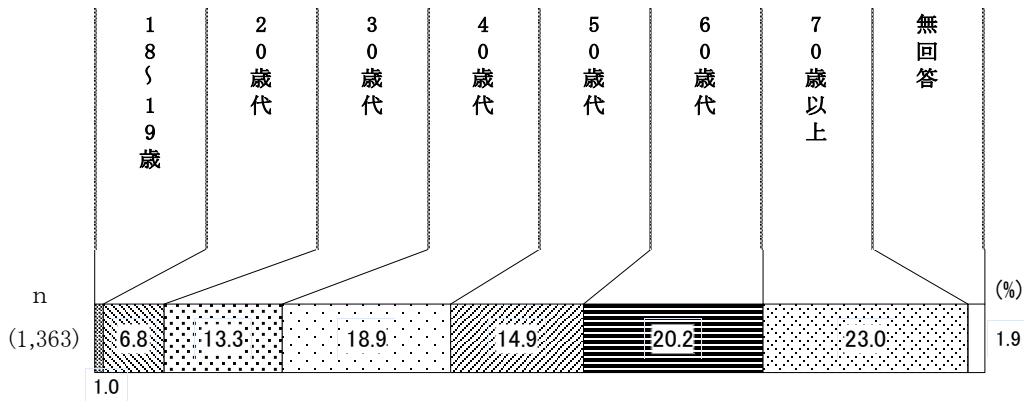
※図表中の「n」は回答者数で、グラフの数値はすべて回答者数を基数とした比率（％）です。小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。複数回答できる質問では、合計が100%を超えます。

# 基本属性

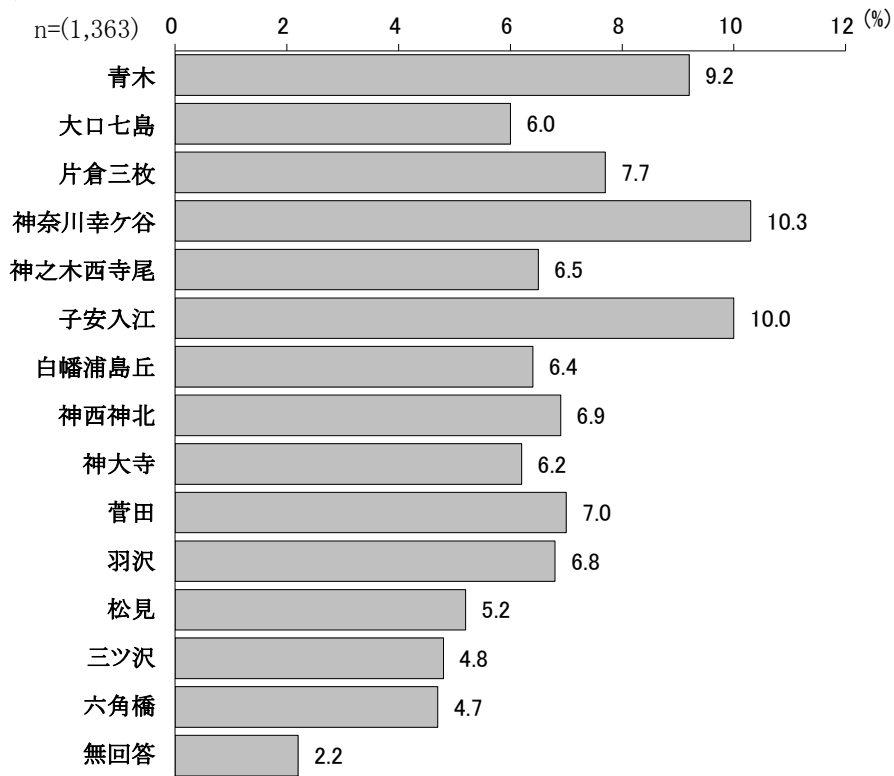
## ○性別



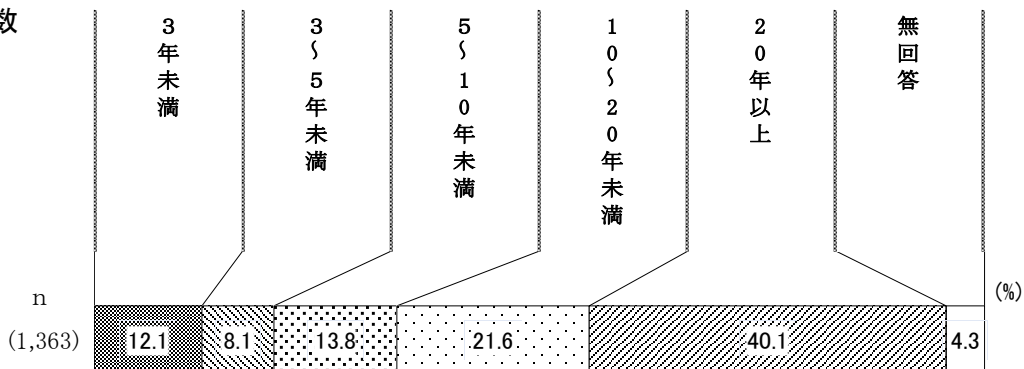
## ○年齢



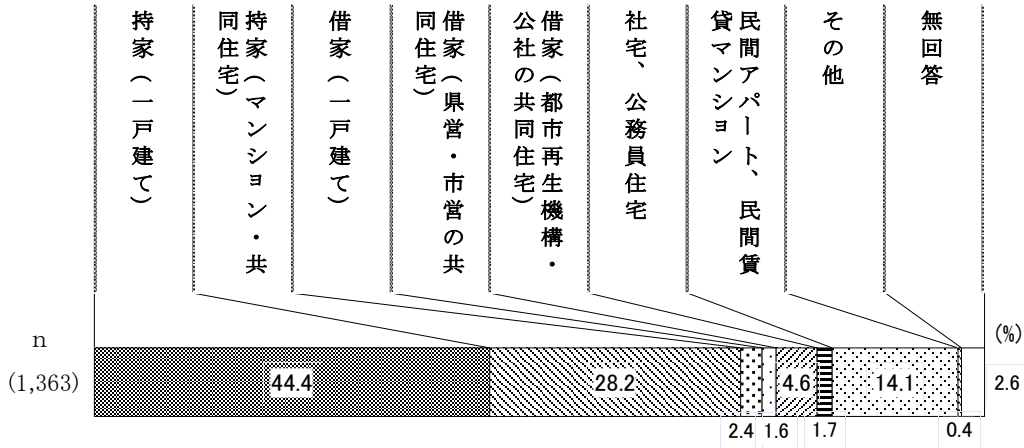
## ○居住地



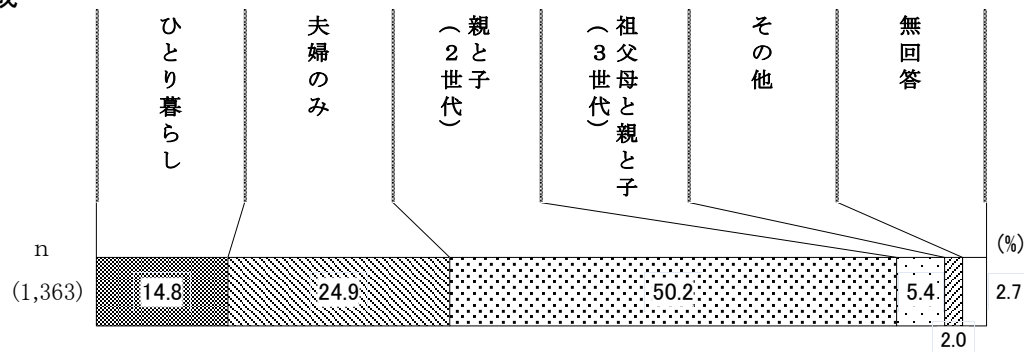
## ○居住年数



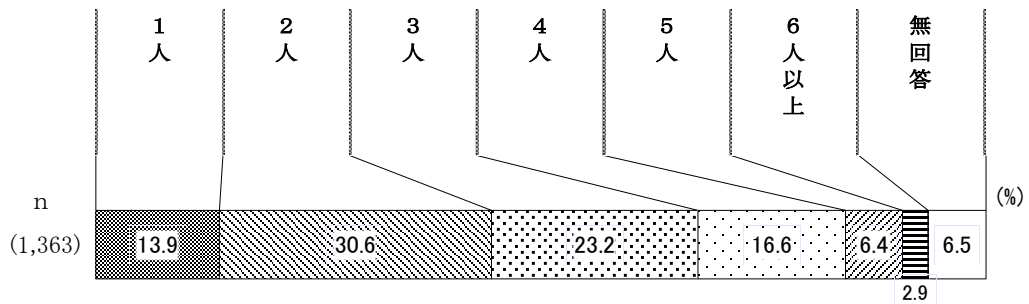
○居住形態



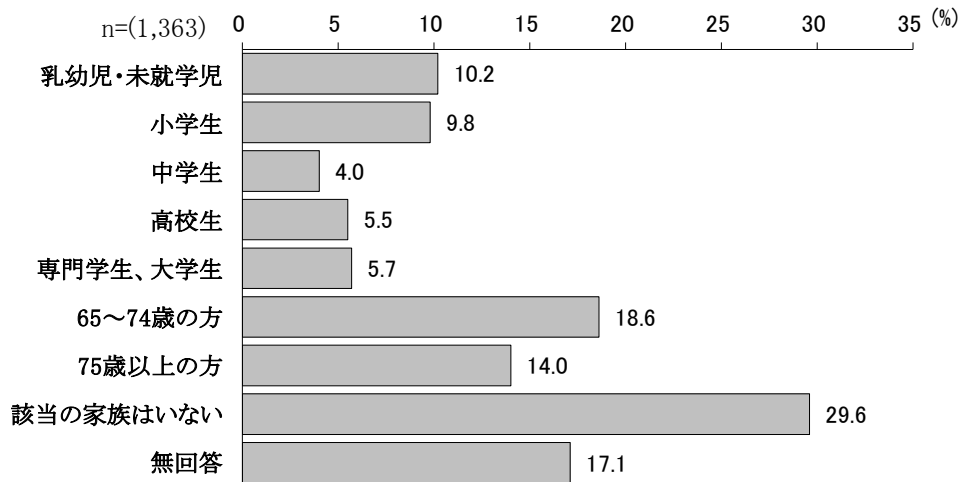
○家族構成



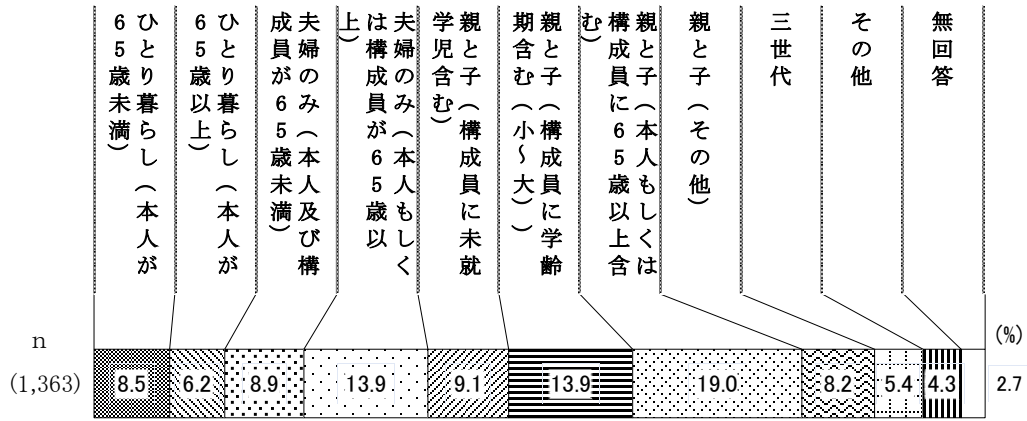
○同居家族の人数



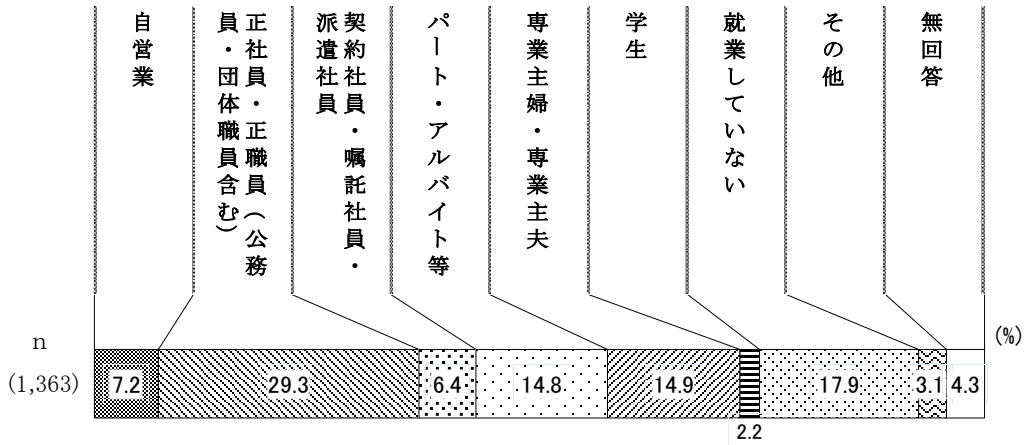
○同居家族の段階



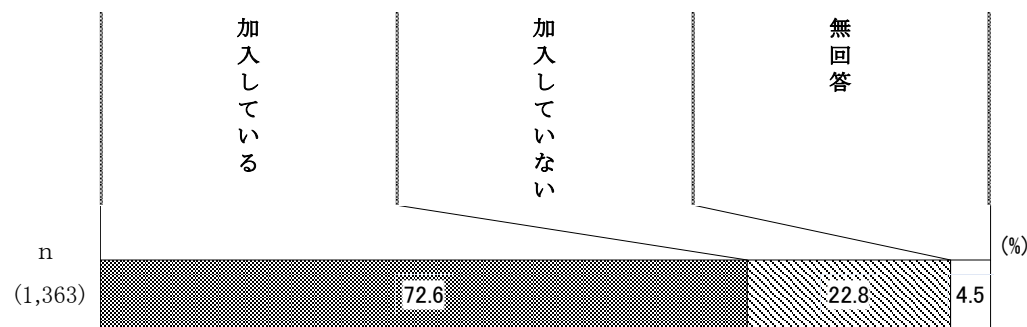
○世帯類型



○就労状況



○自治会町内会への加入状況

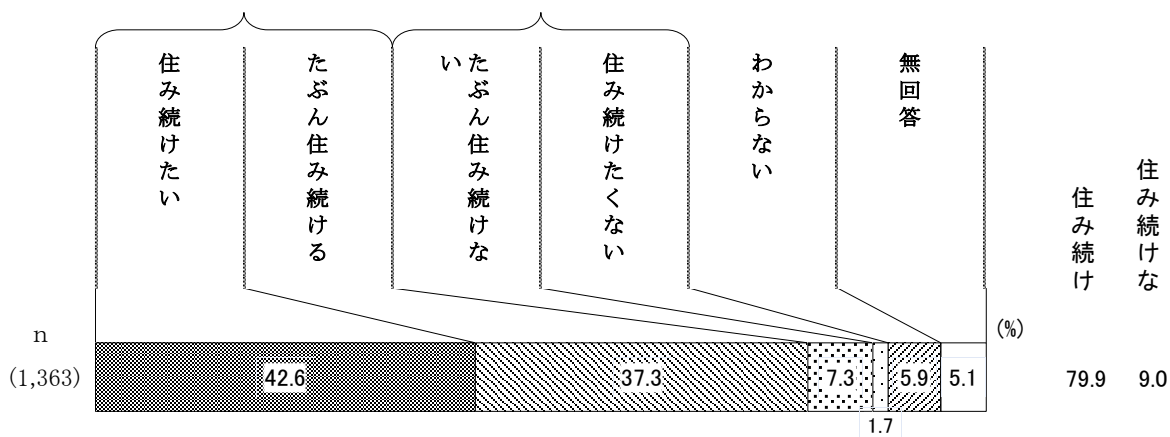


## 定住意向について

### (1) 定住意向

問1 あなたは、現在お住まいの地域(あるいは周辺の地域)に住み続けたいですか。(○は1つ)

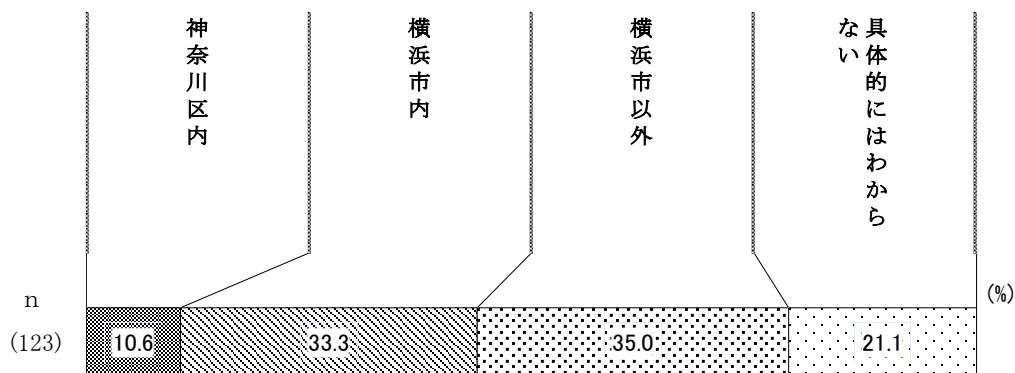
「住み続けたい」(42.6%)と「たぶん住み続ける」(37.3%)を合わせた<住み続ける>は79.9%となっており、「たぶん住み続けない」(7.3%)と「住み続けたくない」(1.7%)を合わせた<住み続けない>は9.0%、「わからない」は5.9%となっている。



### (2) 希望する移転先

問2 問1で「3 たぶん住み続けない」「4 住み続けたくない」と答えた方におたずねします。移転先としては、どちらを希望されますか。(○は1つ)

「たぶん住み続けない」、「住み続けたくない」と回答した人が希望する移転先は、「横浜市以外」が35.0%、「横浜市内」が33.3%、「神奈川区内」が10.6%である。一方、「具体的にはわからない」は21.1%となっている。



## 現在の住まいの環境について

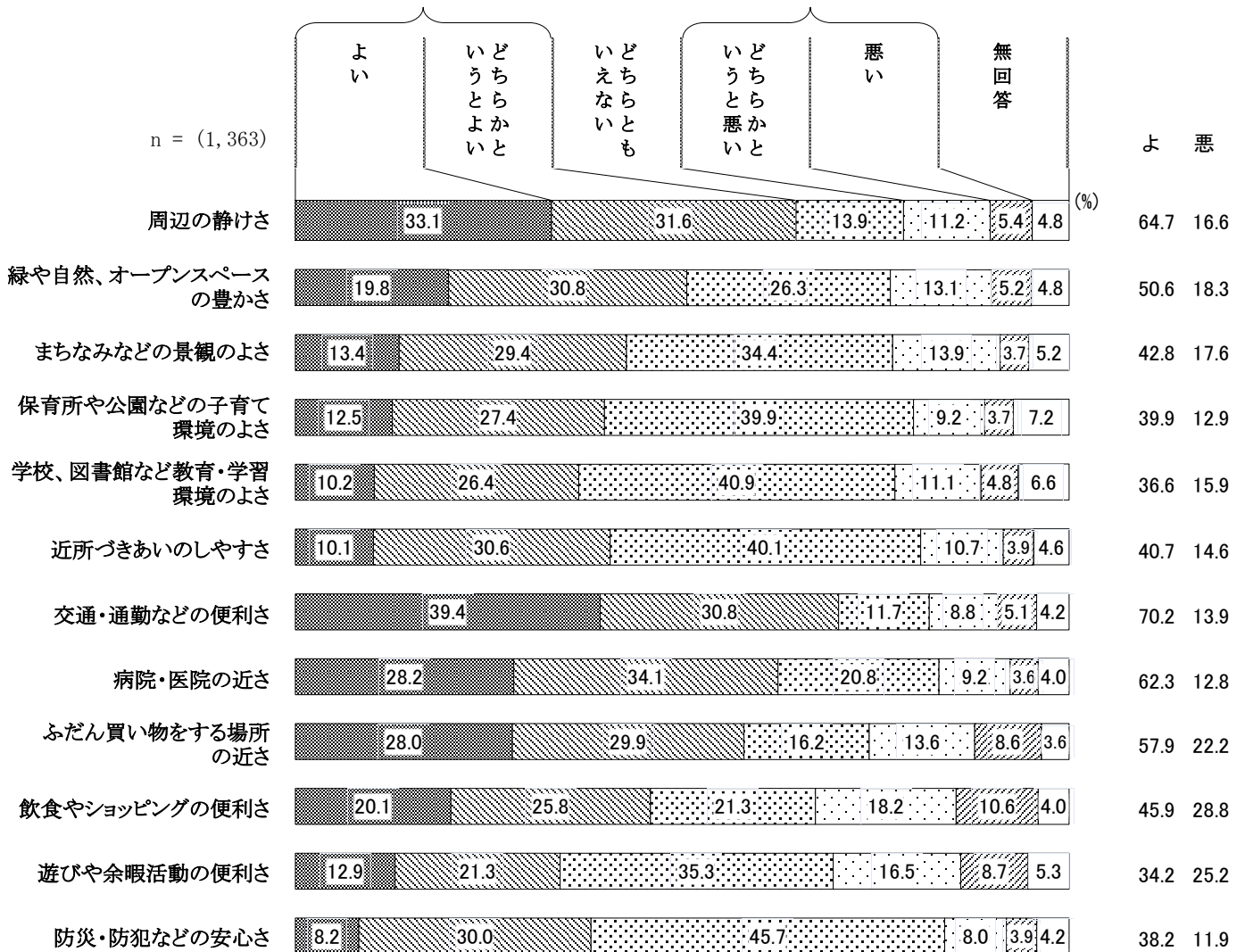
### (1) 現在の住まいの環境について

問3 あなたは、現在のお住まいの環境に関する次の項目について、どのように感じていますか。現在の状況と以前と比べた変化、それぞれについて該当する番号に○をつけてください。  
(○はそれぞれ1つずつ)

#### (ア) 現在の状況

「よい」が最も多くなっているのは「周辺の静けさ」、「交通・通勤などの便利さ」の2項目である。

「よい」と「どちらかというといよい」を合わせた<よい>をみると、「交通・通勤などの便利さ(70.2%)」、「周辺の静けさ(64.7%)」、「病院・医院の近さ(62.3%)」となっている。一方、「悪い」と「どちらかというとい悪い」を合わせた<悪い>をみると、「飲食やショッピングの便利さ(28.8%)」、「遊びや余暇活動の便利さ(25.2%)」、「ふだん買い物をする場所の近さ(22.2%)」となっている。

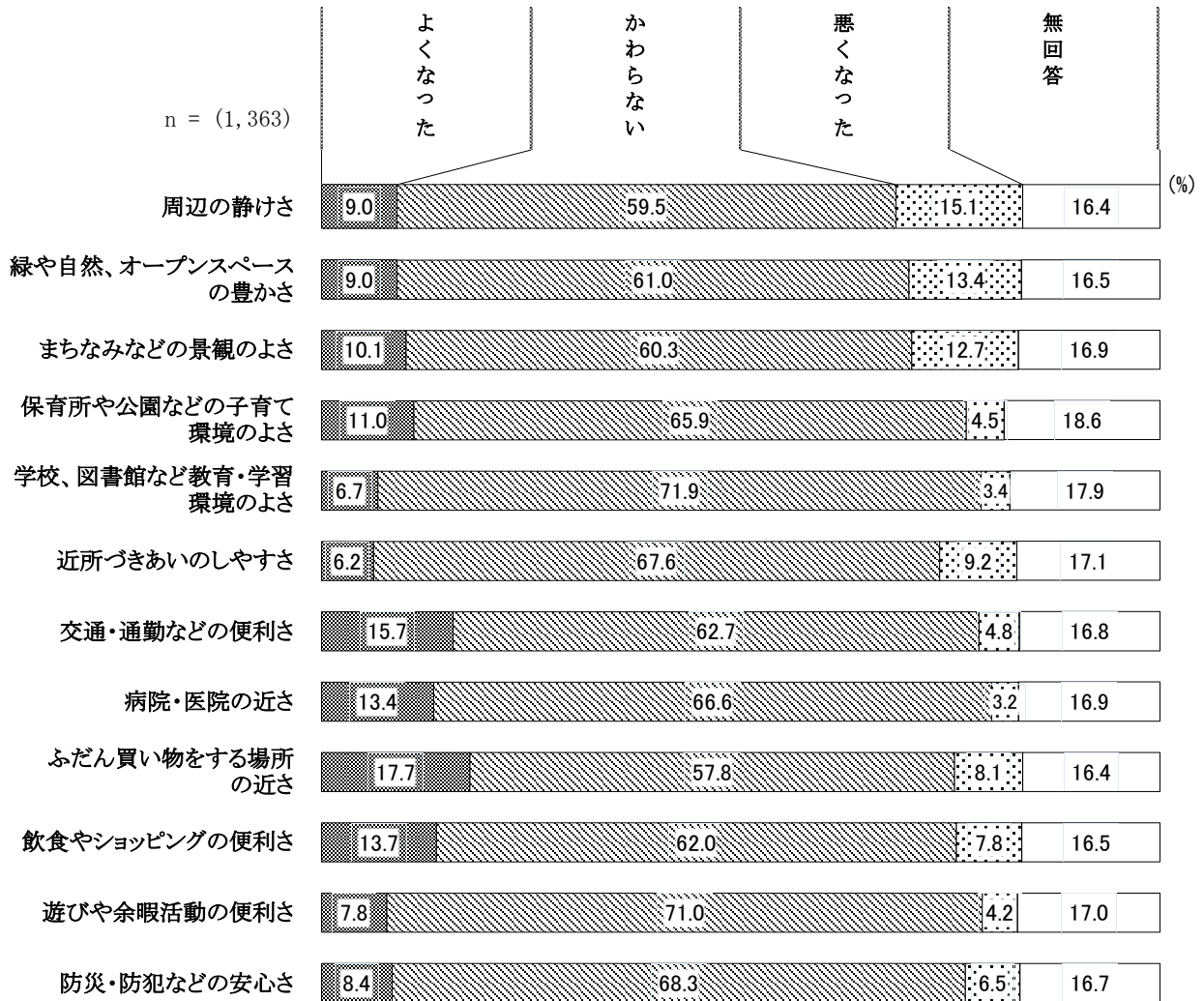


(イ) 以前と比べて

いずれも「かわらない」が最も多くなっている。

「よくなった」の割合が高いのは「ふだん買い物をする場所の近さ (17.7%)」、「交通・通勤などの  
 便利さ (15.7%)」となっている。

「悪くなった」の割合が高いのは、「周辺の静けさ (15.1%)」、「緑や自然、オープンスペースの豊かさ  
 (13.4%)」、「まちなみなどの景観のよさ (12.7%)」となっている。



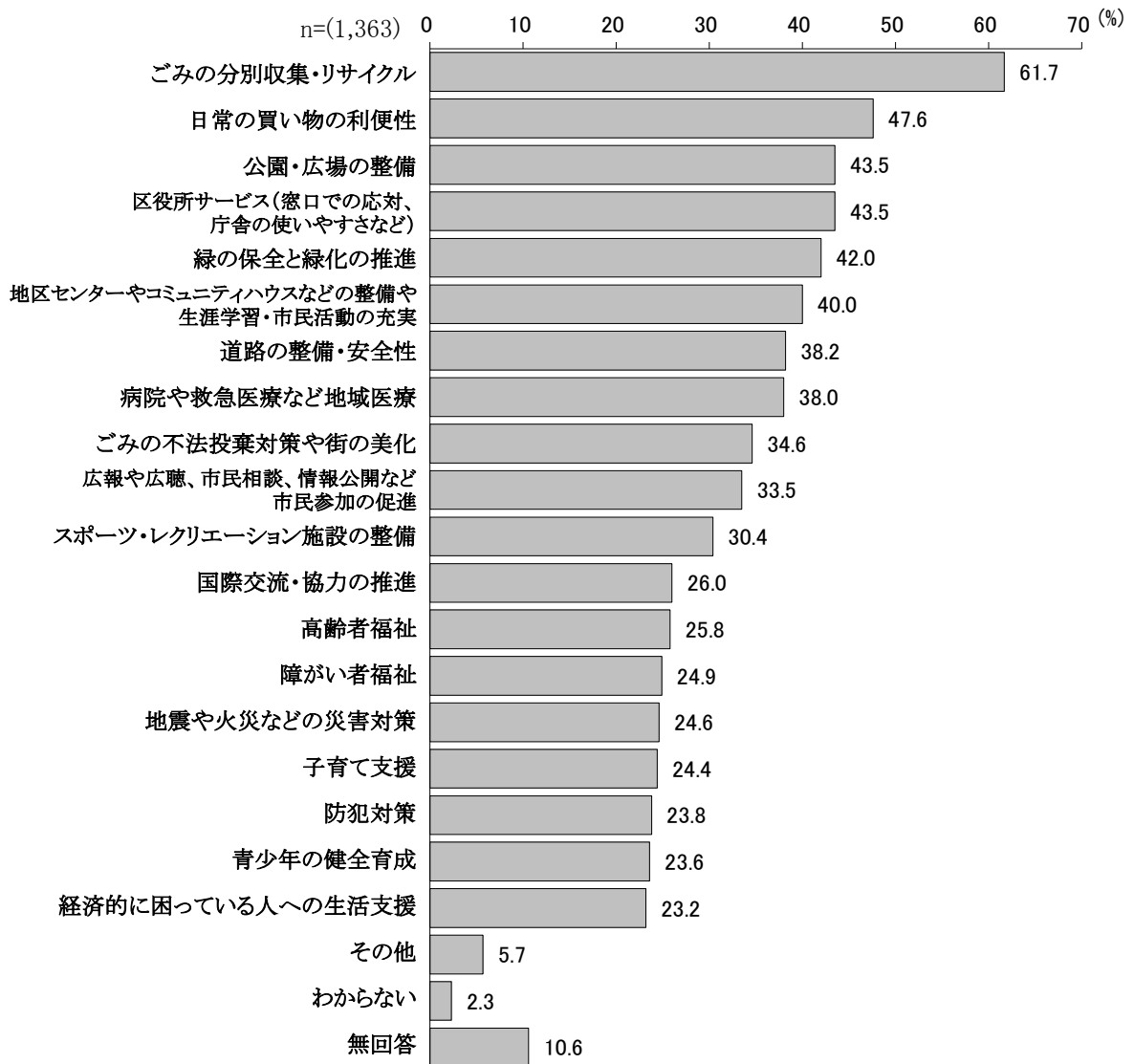
## 神奈川区の行政サービスについて

### (1) 神奈川区の行政サービスで満足しているもの、充実すべきもの

問4 神奈川区の行政サービスの中で、(ア)あなたが満足しているサービス、(イ)今後、充実すべきだと思うサービスは何ですか。【(ア)、(イ)それぞれあてはまるものすべてに○】

#### (ア) あなたが満足しているサービス

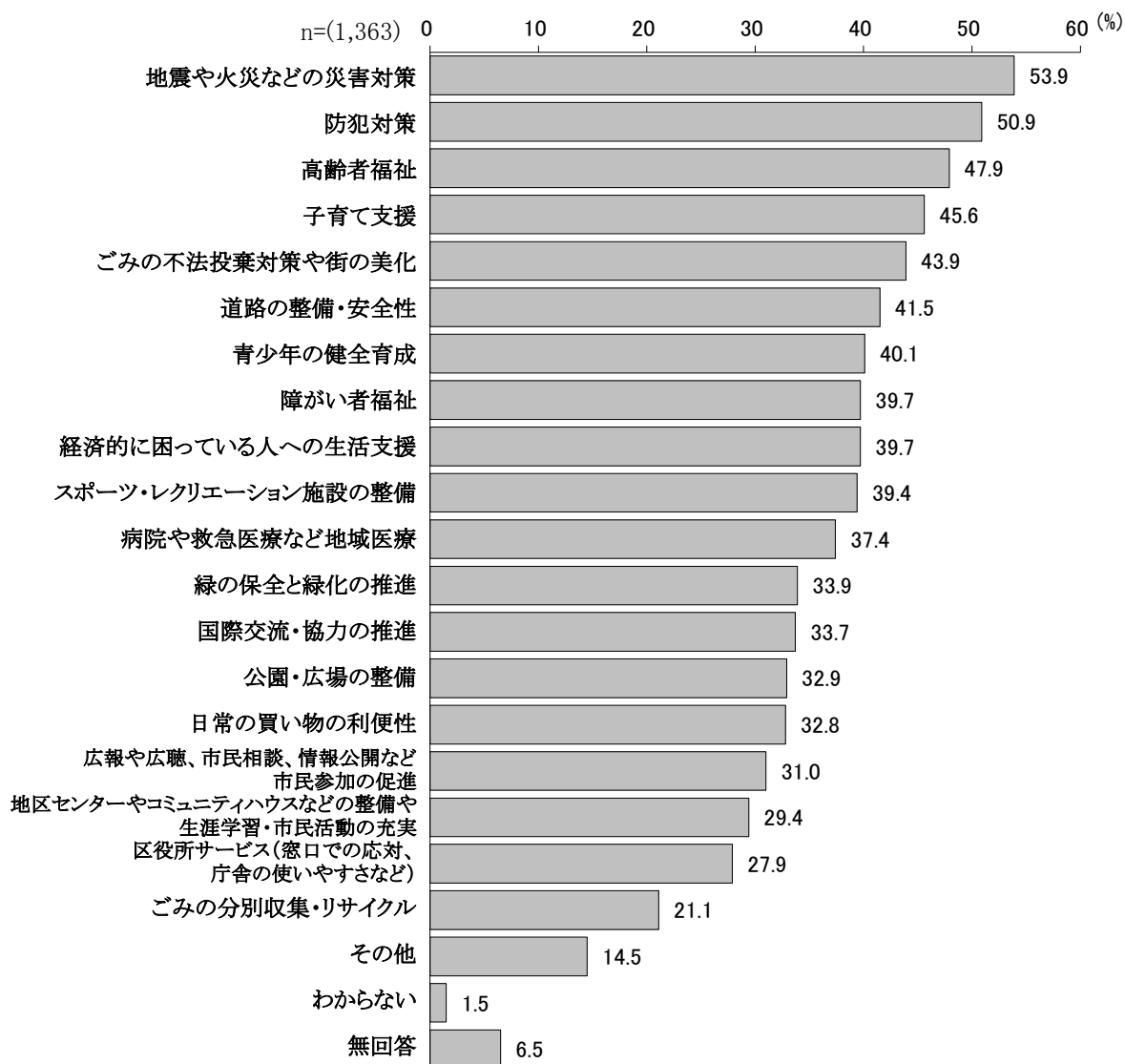
満足しているサービスとしては、「ごみの分別収集・リサイクル」が61.7%で最も高くなっている。次いで、「日常の買い物の利便性」が47.6%、「公園・広場の整備」と「区役所サービス（窓口での対応、庁舎の使いやすさなど）」がともに43.5%、「緑の保全と緑化の推進」が42.0%、「地区センターやコミュニティハウスなどの整備や生涯学習・市民活動の充実」が40.0%で続いている。





(イ) 今後、充実すべきだと思うサービス

今後、充実すべきだと思うサービスとしては、「地震や火災などの災害対策」が53.9%で最も高くなっている。次いで、「防犯対策」が50.9%、「高齢者福祉」が47.9%、「子育て支援」が45.6%となっている。

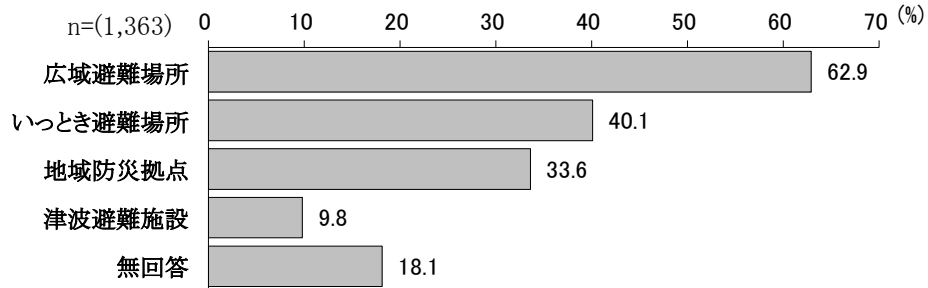


## 防災について

### (1) 知っている地域の避難場所

問5 お住まいの地域の避難場所を知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

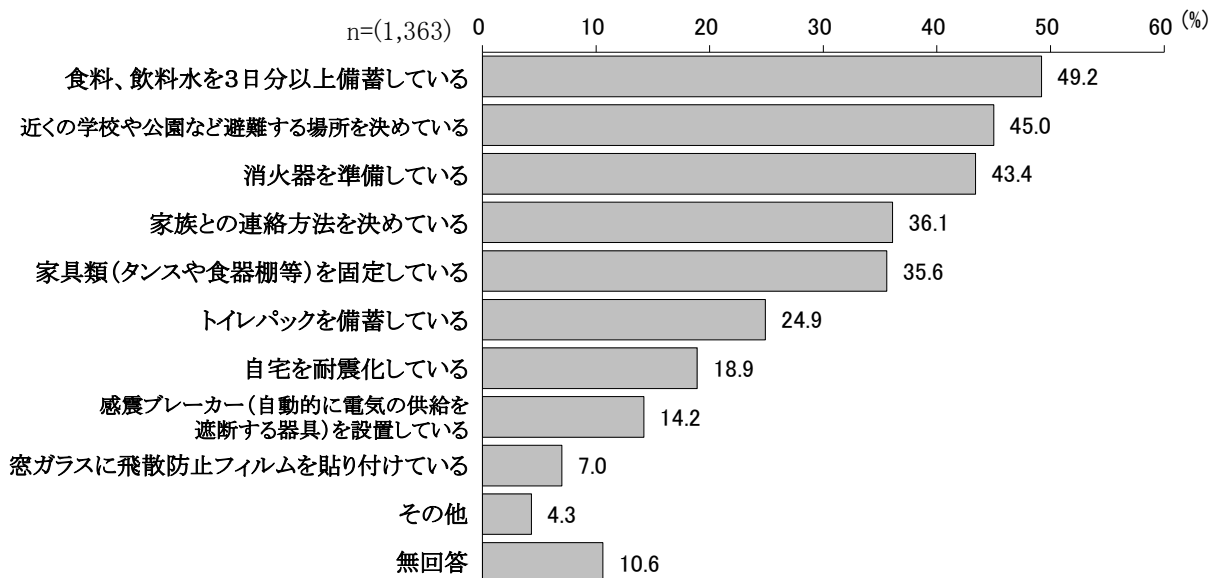
知っている地域の避難場所は、「広域避難場所」が62.9%で最も高くなっている。次いで、「いつとき避難場所」が40.1%、「地域防災拠点」が33.6%、「津波避難施設」が9.8%となっている。



### (2) 家庭での日ごろの防災対策 (自助)

問6 あなたのご家庭での日ごろの防災対策 (自助) についてお伺いします。あなたやあなたのご家庭では、災害に対して、現在どのような対策をしていますか。  
(あてはまるものすべてに○)

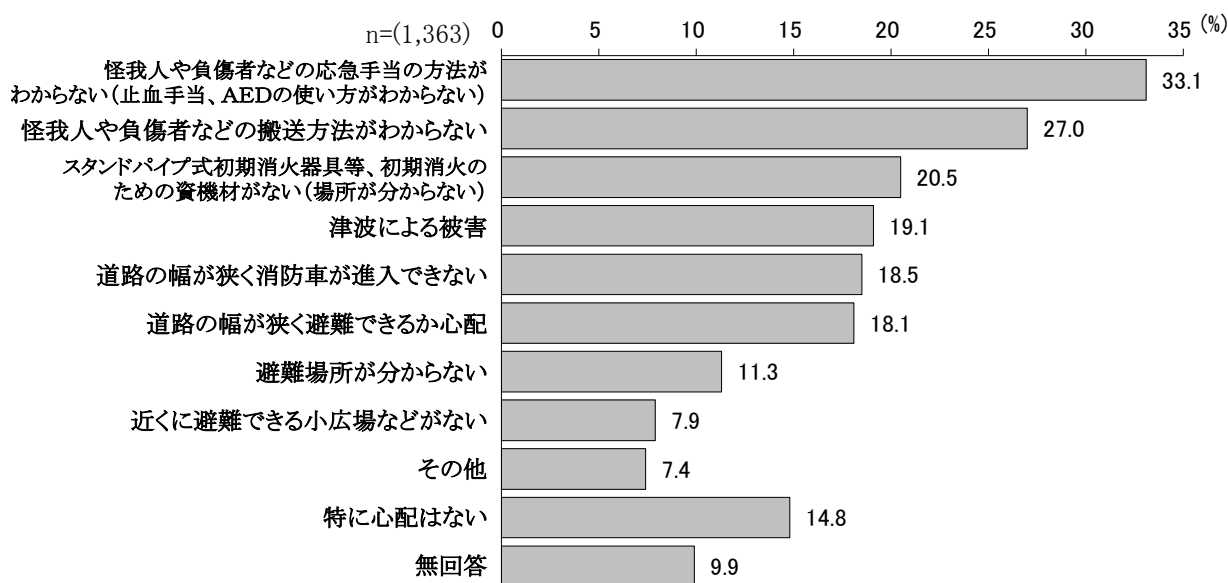
家庭での日ごろの防災対策 (自助) は、「食料、飲料水を3日分以上備蓄している」が49.2%で最も高くなっている。次いで、「近くの学校や公園など避難する場所を決めている」が45.0%、「消火器を準備している」が43.4%、「家族との連絡方法を決めている」が36.1%、「家具類 (タンスや食器棚等) を固定している」が35.6%となっている。



### (3) 住まいの地域で心配なこと

問7 あなたのお住まいの地域で、心配なことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

住まいの地域で心配なことは、「怪我人や負傷者などの応急手当の方法がわからない(止血手当、AEDの使い方がわからない)」が33.1%で最も高くなっている。次いで、「怪我人や負傷者などの搬送方法がわからない」が27.0%、「スタンドパイプ式初期消火器具等、初期消火のための資機材がない(場所が分からない)」が20.5%、「津波による被害」が19.1%、「道路の幅が狭く消防車が進入できない」が18.5%、「道路の幅が狭く避難できるか心配」が18.1%となっている。一方、「特に心配はない」は14.8%となっている。

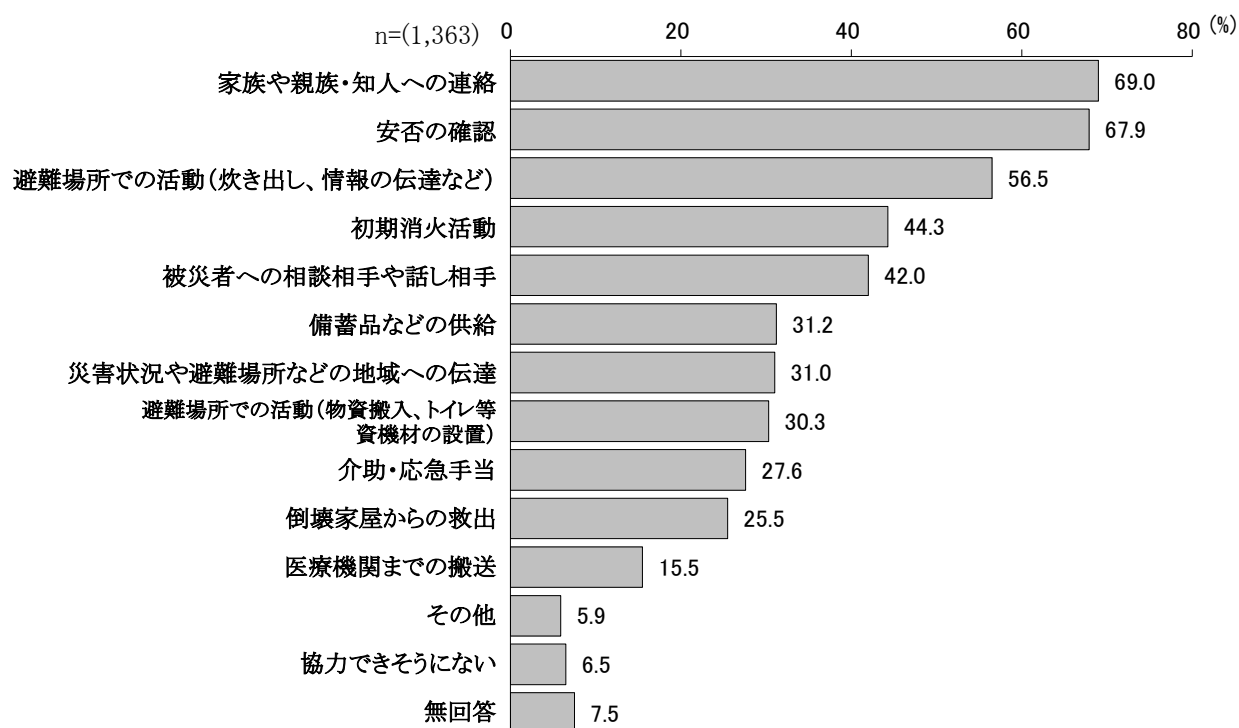


#### (4) 災害が発生したときにできる手助け、期待する手助け

問8 災害が発生したときに、あなたができる手助けはどのようなものですか。また、各年代の方が地域でできる手助け（あなたが期待している手助け）はどのようなものですか。（あなたと各年代にあてはまるものすべてに○）

##### 災害が発生したときに、あなたができる手助け

本人ができる手助けは、「家族や親族・知人への連絡」が69.0%、「安否の確認」が67.9%でともに高くなっている。次いで、「避難場所での活動（炊き出し、情報の伝達など）」が56.5%、「初期消火活動」が44.3%、「被災者への相談相手や話し相手」が42.0%、「備蓄品などの供給」が31.2%、「災害状況や避難場所などの地域への伝達」が31.0%、「避難場所での活動（物資搬入、トイレ等資機材の設置）」が30.3%で続いている。一方、「協力できそうにない」は6.5%となっている。

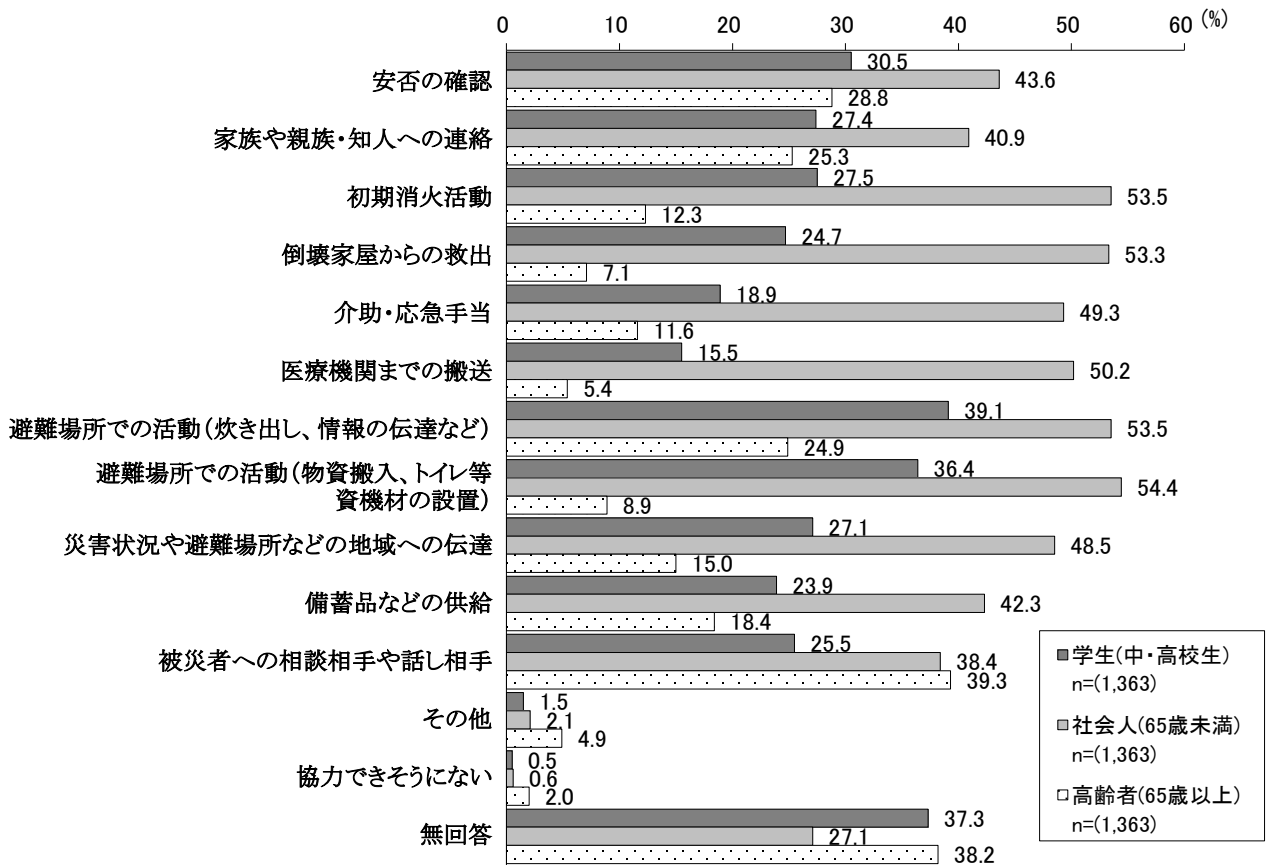


##### 災害が発生したときに、あなたが期待している手助け

学生（中・高校生）に期待している手助けは、「避難場所での活動（炊き出し、情報の伝達など）」が39.1%で最も高く、次いで「避難場所での活動（物資搬入、トイレ等資機材の設置）」が36.4%、「安否の確認」が30.5%となっている。

社会人（65歳未満）に期待している手助けは、「避難場所での活動（物資搬入、トイレ等資機材の設置）」が54.4%、「初期消火活動」と「避難場所での活動（炊き出し、情報の伝達など）」がともに53.5%、「倒壊家屋からの救出」が53.3%、「医療機関までの搬送」が50.2%となっており、他の世代と比べて高い割合の項目が多くなっている。

高齢者（65歳以上）に期待している手助けは、「被災者への相談相手や話し相手」が39.3%で最も高く、学生や社会人の割合を上回っている。それ以外の項目では、他の世代と比べて低くなっているものの、「安否の確認」が28.8%、「家族や親族・知人への連絡」が25.3%、「避難場所での活動（炊き出し、情報の伝達など）」が24.9%となっている。

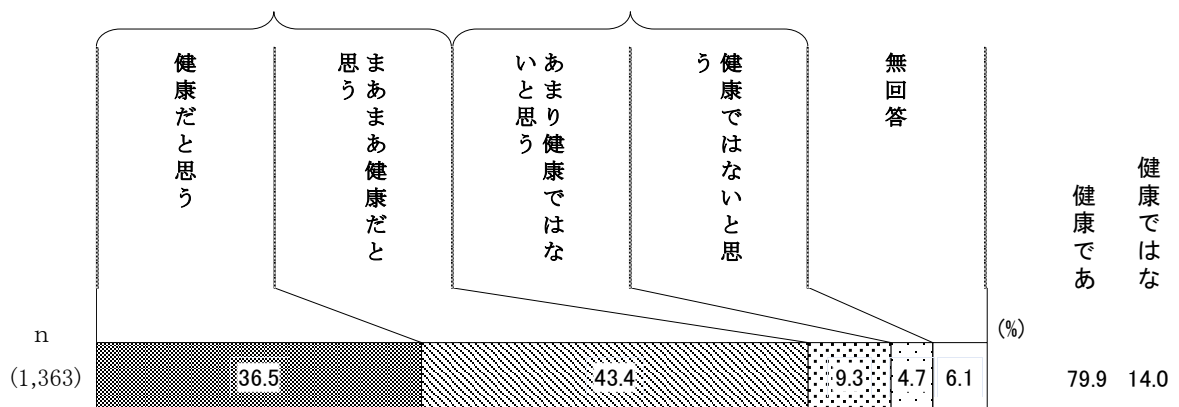


## 健康づくりについて

### (1) 健康の自覚

問9 あなたは健康だと思いますか。(○は1つ)

「健康だと思う」(36.5%)と「まあまあ健康だと思う」(43.4%)を合わせた<健康である>は79.9%、「あまり健康ではないと思う」(9.3%)と「健康ではないと思う」(4.7%)を合わせた<健康ではない>は14.0%となっている。

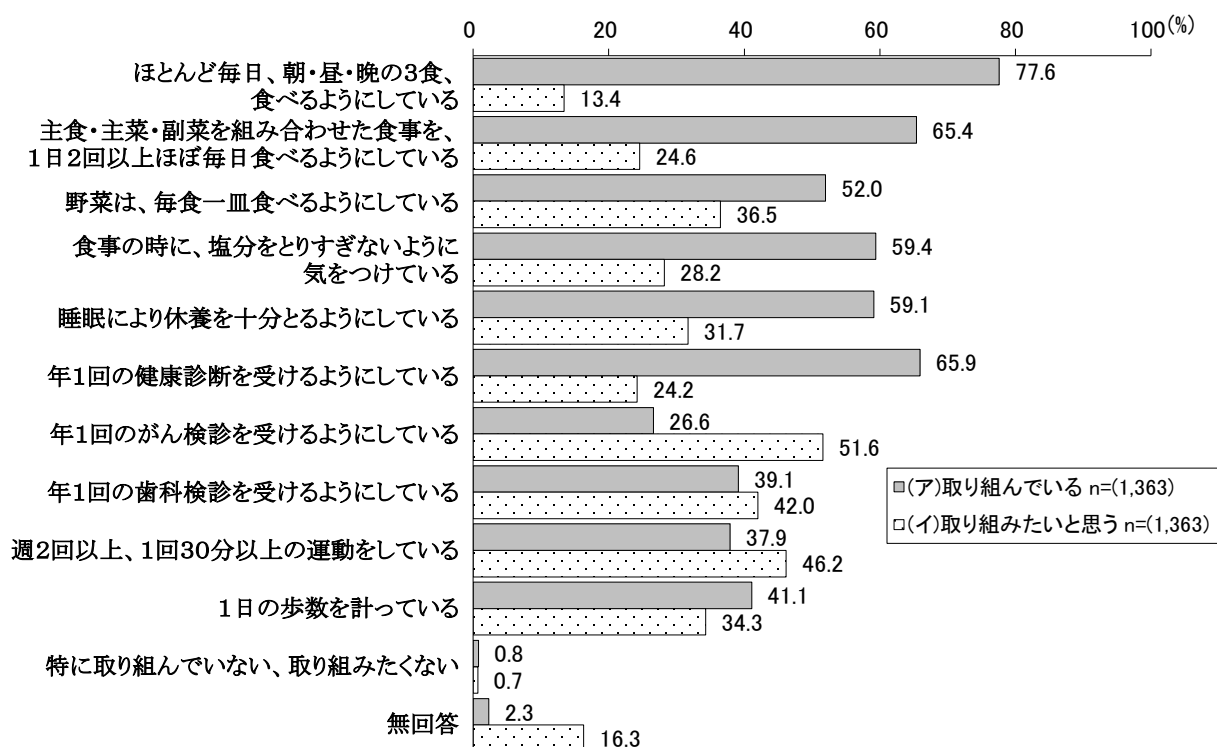


(2) 健康のために取り組んでいること、取り組みたいこと

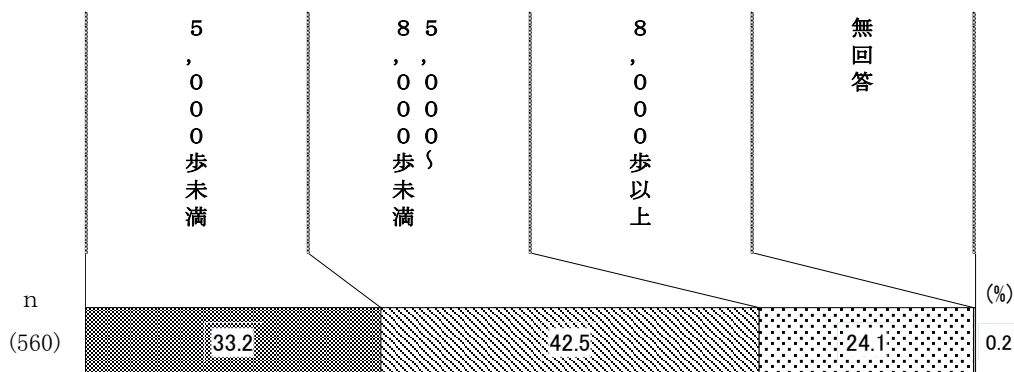
問10 あなたは日頃から健康のために(ア)取り組んでいること、(イ)取り組みたいと思うことはありますか。【(ア)、(イ)それぞれあてはまるものすべてに○】

健康のために取り組んでいることは、「ほとんど毎日、朝・昼・晩の3食、食べるようにしている」が77.6%で最も高くなっている。次いで、「年1回の健康診断を受けるようにしている」が65.9%、「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を、1日2回以上ほぼ毎日食べるようにしている」が65.4%、「食事の時に、塩分をとりすぎないように気をつけている」が59.4%、「睡眠により休養を十分とるようにしている」が59.1%、「野菜は、毎食一皿食べるようにしている」が52.0%となっている。

健康のために取り組みたいことは、「年1回のがん検診を受けるようにしている」が51.6%で最も高くなっている。次いで、「週2回以上、1回30分以上の運動をしている」が46.2%、「年1回の歯科検診を受けるようにしている」が42.0%となっている。



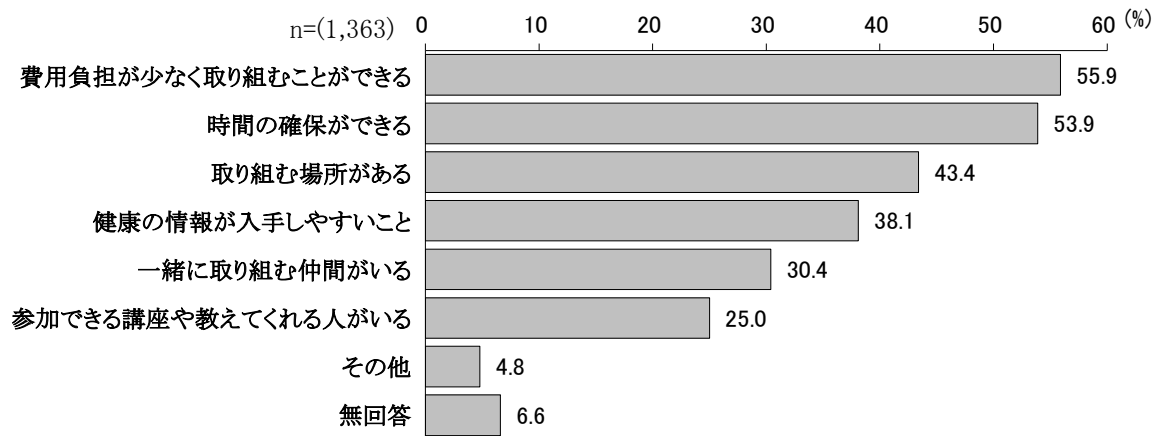
取り組んでいることとして「1日の歩数を計っている」を挙げた人に、1日に歩いている歩数を聞いたところ、「5,000～8,000歩未満」が42.5%で最も高く、「5,000歩未満」が33.2%、「8,000歩以上」が24.1%となっている。



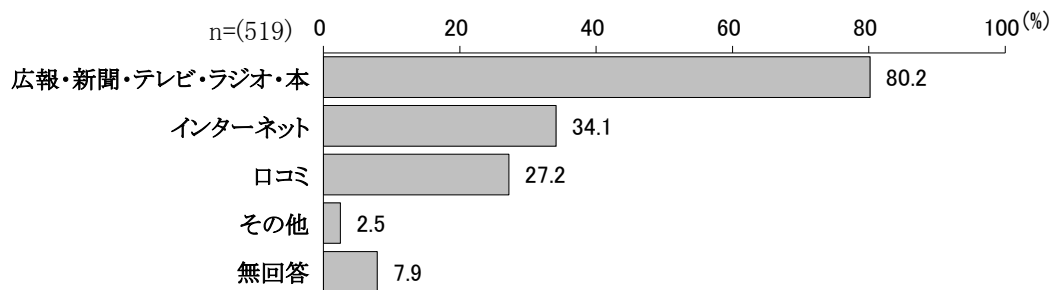
### (3) 健康のための取組に必要なこと

問11 健康のための取組をするにはどのようなことができるようになると思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

健康のための取組に必要なことは、「費用負担が少なく取り組むことができる」が55.9%で最も高く、次いで「時間の確保ができる」が53.9%である。以下、「取り組む場所がある」が43.4%、「健康の情報が入手しやすいこと」が38.1%が続いている。



必要なことに「健康の情報が入手しやすいこと」を挙げた人に、情報を入手したい媒体を聞いたところ、「広報・新聞・テレビ・ラジオ・本」が80.2%で最も高くなっている。次いで「インターネット」が34.1%、「口コミ」が27.2%となっている。

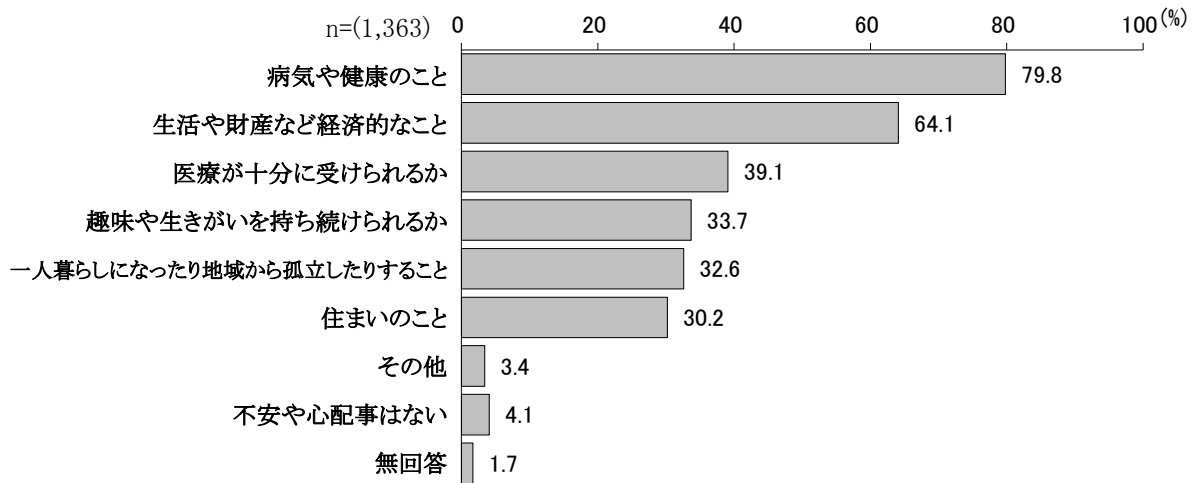


## 高齢期について

### (1) 高齢期に関して不安なこと

問12 高齢期に関して不安なことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

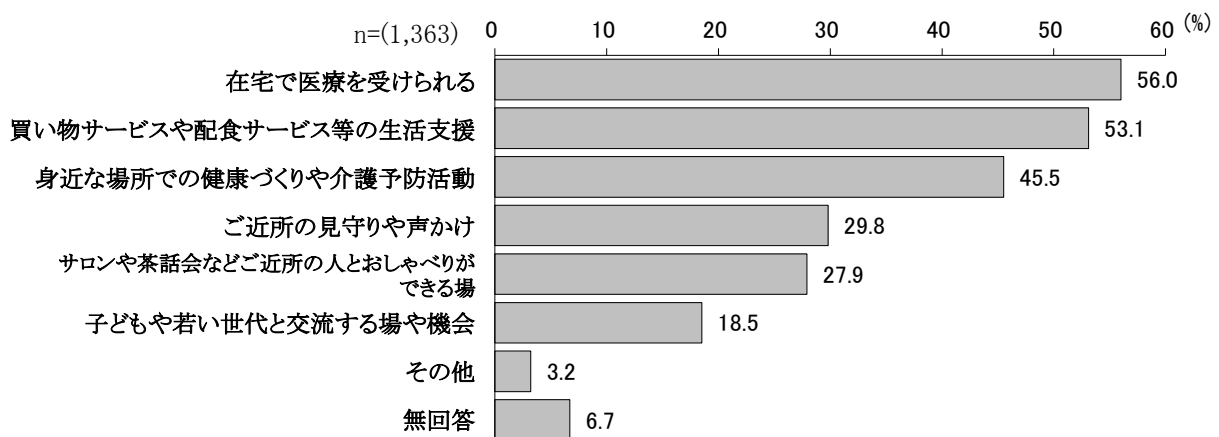
高齢期に関して不安なことは、「病気や健康のこと」が79.8%で最も高くなっている。次いで、「生活や財産など経済的なこと」が64.1%、「医療が十分に受けられるか」が39.1%、「趣味や生きがいを持ち続けられるか」が33.7%、「一人暮らしになったり地域から孤立したりすること」が32.6%、「住まいのこと」が30.2%となっている。一方、「不安や心配事はない」は4.1%となっている。



### (2) 高齢期において受けたい支援 (サービス)

問13 高齢期においてどんな支援 (サービス) を受けたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

高齢期において受けたい支援 (サービス) は、「在宅で医療を受けられる」が56.0%で最も高く、次いで「買い物サービスや配食サービス等の生活支援」が53.1%である。以下、「身近な場所での健康づくりや介護予防活動」が45.5%、「ご近所の見守りや声かけ」が29.8%、「サロンや茶話会などご近所の人とおしゃべりができる場」が27.9%、「子どもや若い世代と交流する場や機会」が18.5%となっている。

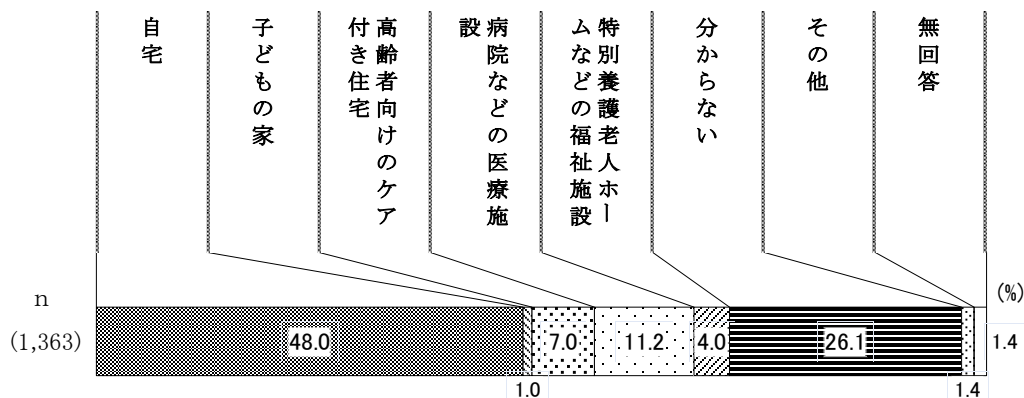




### (3) 人生の最期を迎えたい場所

問14 人生の最期をどこで迎えたいと思いますか。(〇は1つ)

人生の最期を迎えたい場所としては、「自宅」が48.0%で最も高い。次いで「病院などの医療施設」が11.2%、「高齢者向けのケア付き住宅」が7.0%、「特別養護老人ホームなどの福祉施設」が4.0%となっている。一方、「分からない」は26.1%となっている。



### ご近所との関わりについて

#### (1) 隣近所とのつき合い方

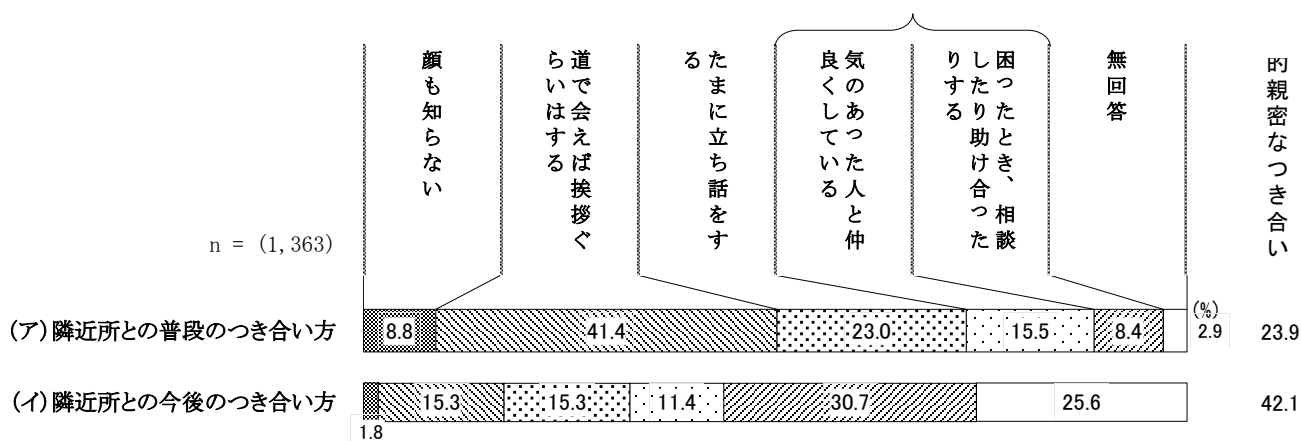
問15 隣近所とのつき合い方についておたずねします。

(ア) 普段どのようなつき合い方をしていますか。(〇は1つ)

(イ) 今後、どうありたいと考えていますか。(〇は1つ)

普段のつき合い方は、「道で会えば挨拶ぐらいはする」が41.4%で最も高く、「たまに立ち話をする」が23.0%となっている。「気のあった人と仲良くしている」(15.5%)と「困ったとき、相談したり助け合ったりする」(8.4%)を合わせた<比較的親密なつき合い方>は23.9%である。

今後のつき合い方は、「困ったとき、相談したり助け合ったりする」が30.7%で最も高く、「気のあった人と仲良くしている」(11.4%)と合わせた<比較的親密なつき合い方>は42.1%である。「道で会えば挨拶ぐらいはする」と「たまに立ち話をする」はともに15.3%となっている。



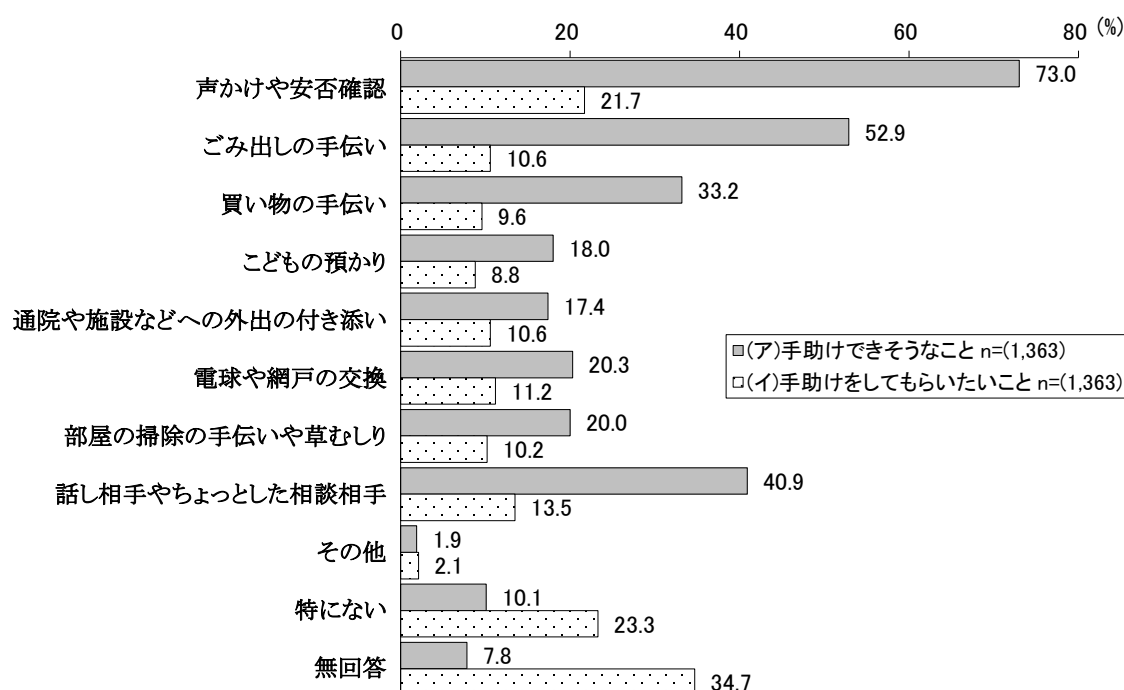
## (2) 近所の助け合い

問16 近所の助け合いについておたずねします。

- (ア) ちょっとした困りごとがあった場合に、近所で手助けできそうなことはありますか。  
 (あてはまるものすべてに○)  
 (イ) ちょっとした困りごとがあった場合に、手助けをしてもらいたいことはありますか。  
 (あてはまるものすべてに○)

近所で手助けできそうなことは、「声かけや安否確認」が73.0%で最も高くなっている。次いで、「ごみ出しの手伝い」が52.9%、「話し相手やちょっとした相談相手」が40.9%、「買い物の手伝い」が33.2%となっている。

手助けをしてもらいたいことは、「声かけや安否確認」が21.7%で最も高く、次いで「話し相手やちょっとした相談相手」が13.5%となっている。以下、「電球や網戸の交換」が11.2%、「ごみ出しの手伝い」と「通院や施設などへの外出の付き添い」がともに10.6%などで続いている。一方、「特にない」は23.3%となっている。



## 買い物場所について

### (1) 日常の買い物

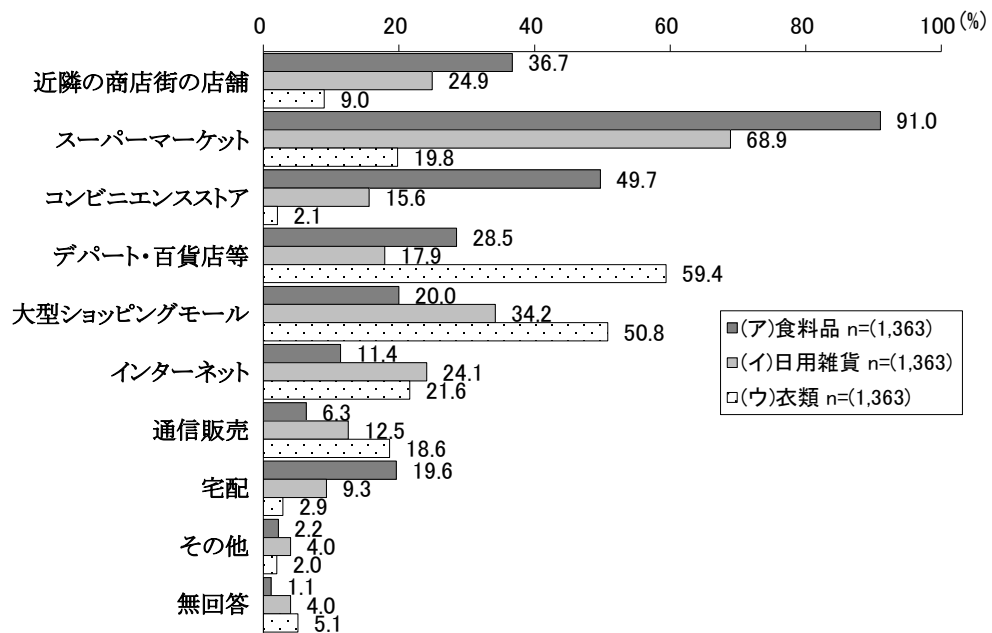
問17 日常の買い物についてお聞きします。

- (ア) 食料品はどこで購入しますか。(あてはまるものすべてに○)  
 (イ) 日用雑貨はどこで購入しますか。(あてはまるものすべてに○)  
 (ウ) 衣類はどこで購入しますか。(あてはまるものすべてに○)

食料品の購入先は、「スーパーマーケット」が91.0%で最も高くなっている。次いで、「コンビニエンスストア」が49.7%、「近隣の商店街の店舗」が36.7%、「デパート・百貨店等」が28.5%となっている。

日用雑貨の購入先は、「スーパーマーケット」が68.9%で最も高くなっている。次いで、「大型ショッピングモール」が34.2%、「近隣の商店街の店舗」が24.9%、「インターネット」が24.1%となっている。

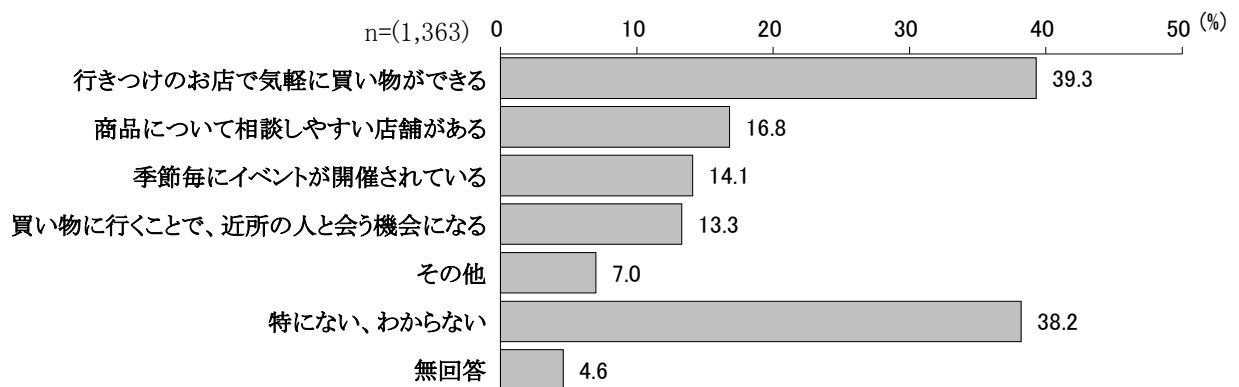
衣類の購入先は、「デパート・百貨店等」が59.4%で最も高く、「大型ショッピングモール」が50.8%となっている。以下、「インターネット」が21.6%、「スーパーマーケット」が19.8%、「通信販売」が18.6%となっている。



## (2) 商店街の魅力

問18 神奈川区には24の商店街がありますが、商店街の魅力は何だと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

商店街の魅力は、「行きつけのお店で気軽に買い物ができる」が39.3%で最も高くなっている。次いで、「商品について相談しやすい店舗がある」が16.8%、「季節毎にイベントが開催されている」が14.1%、「買い物に行くことで、近所の人と会う機会になる」が13.3%となっている。一方、「特にない、わからない」は38.2%となっている。

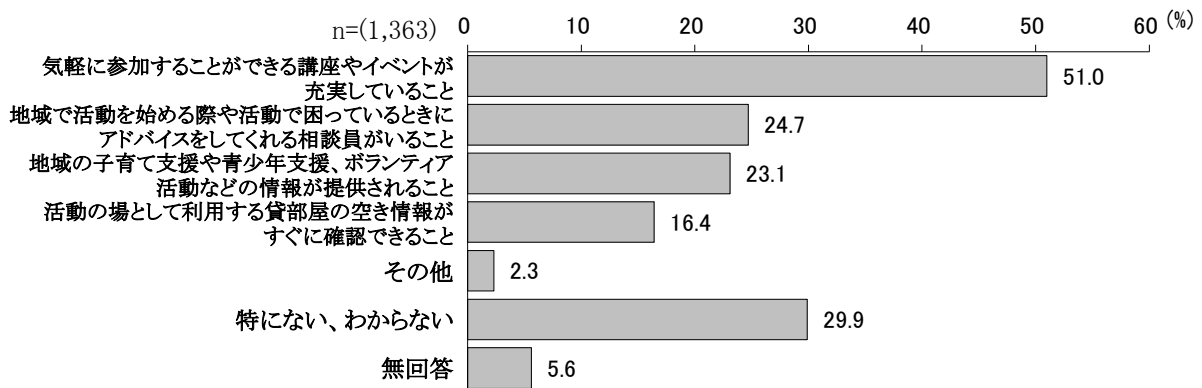


## 地域での活動について

### (1) 地域ケアプラザを利用する際に重要と感ずること

問19 地域活動・交流の場として、地域ケアプラザを利用する際に、重要と感ずることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

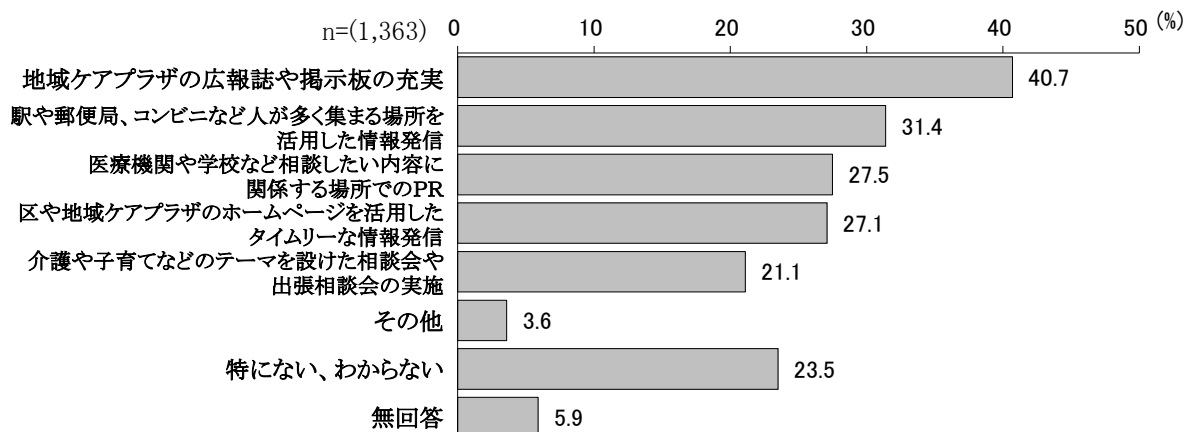
地域ケアプラザを利用する際に重要と感ずることは、「気軽に参加することができる講座やイベントが充実していること」が51.0%で最も高くなっている。次いで、「地域で活動を始める際や活動で困っているときにアドバイスをしてくれる相談員がいること」が24.7%、「地域の子育て支援や青少年支援、ボランティア活動などの情報が提供されること」が23.1%、「活動の場として利用する貸部屋の空き情報がすぐに確認できること」が16.4%となっている。一方、「特にない、わからない」は29.9%となっている。



### (2) 地域ケアプラザを誰でも利用しやすくするために必要なこと

問20 地域ケアプラザは、子どもから高齢者までの身近な相談機関です。誰でも身近に利用しやすくするには、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

地域ケアプラザを誰でも利用しやすくするために必要なことは、「地域ケアプラザの広報誌や掲示板の充実」が40.7%で最も高くなっている。次いで、「駅や郵便局、コンビニなど人が多く集まる場所を活用した情報発信」が31.4%、「医療機関や学校など相談したい内容に関する場所でのPR」が27.5%、「区や地域ケアプラザのホームページを活用したタイムリーな情報発信」が27.1%、「介護や子育てなどのテーマを設けた相談会や出張相談会の実施」が21.1%となっている。一方、「特にない、わからない」は23.5%となっている。



### (3) 地域の活動について

問21 地域の活動についておたずねします。

(ア)参加している(したことがある)活動は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

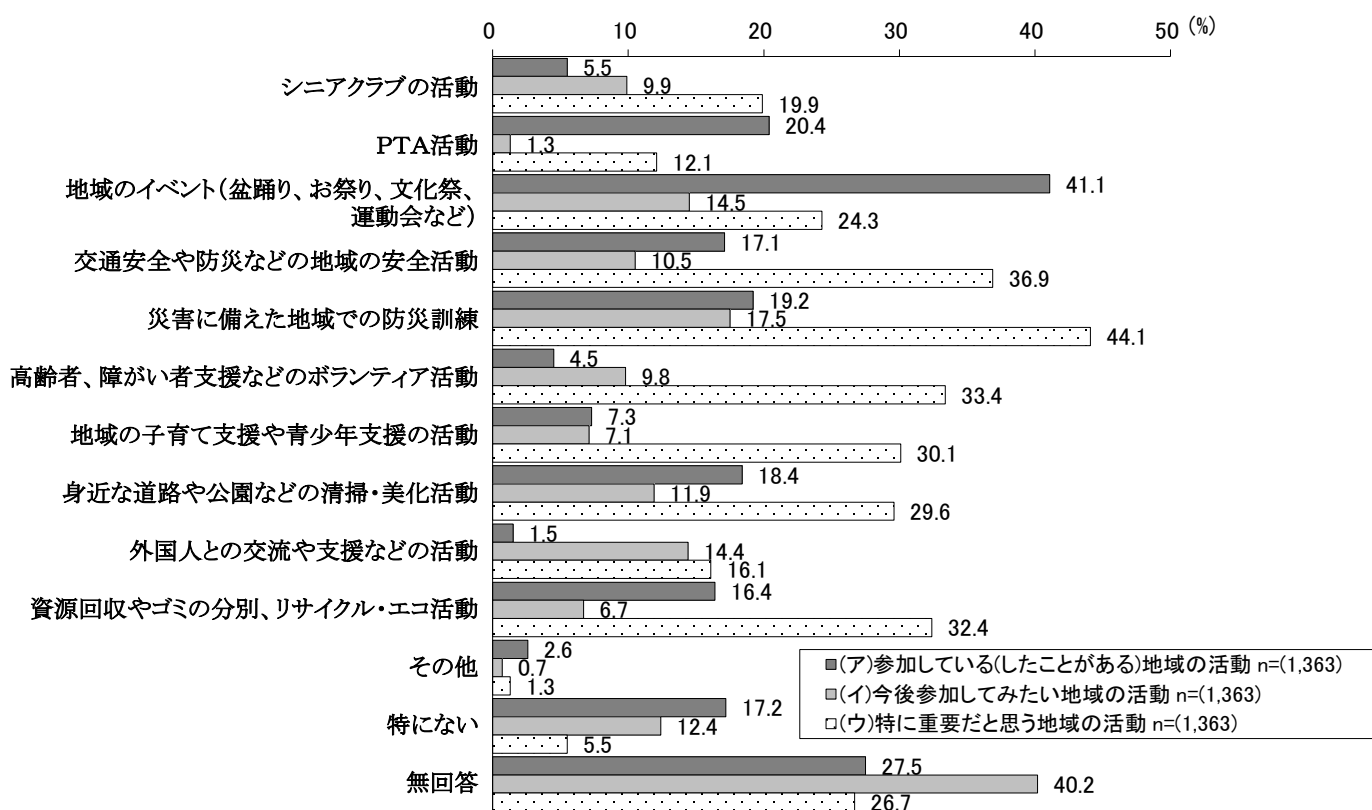
(イ)今後参加してみたい活動は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

(ウ)特に重要だと思う活動は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

参加している(したことがある)活動で最も高くなっているのは、「地域のイベント(盆踊り、お祭り、文化祭、運動会など)(41.1%)」である。次いで、「PTA活動(20.4%)」、「災害に備えた地域での防災訓練(19.2%)」、「身近な道路や公園などの清掃・美化活動(18.4%)」となっている。一方、「特にない」は17.2%となっている。

今後参加してみたい活動で最も高くなっているのは、「災害に備えた地域での防災訓練(17.5%)」である。次いで、「地域のイベント(盆踊り、お祭り、文化祭、運動会など)(14.5%)」、「外国人との交流や支援などの活動(14.4%)」、「身近な道路や公園などの清掃・美化活動(11.9%)」となっている。一方、「特にない」は12.4%となっている。

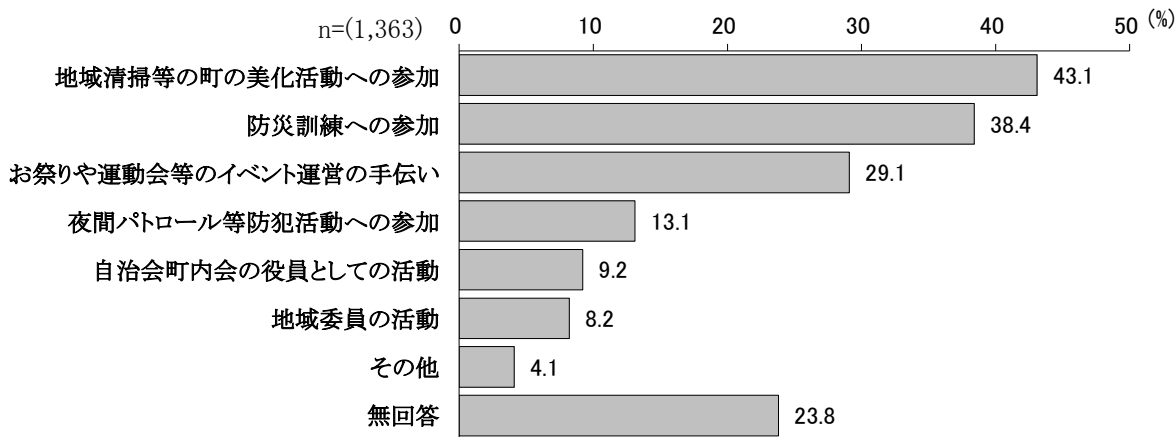
特に重要だと思う活動で最も高くなっているのは、「災害に備えた地域での防災訓練(44.1%)」となっている。次いで、「交通安全や防災などの地域の安全活動(36.9%)」、「高齢者、障がい者支援などのボランティア活動(33.4%)」、「資源回収やゴミの分別、リサイクル・エコ活動(32.4%)」、「地域の子育て支援や青少年支援の活動(30.1%)」、「身近な道路や公園などの清掃・美化活動(29.6%)」となっている。一方、「特にない」は5.5%となっている。



#### (4) 地域のために関われること

問22 あなたは地域のためにどのようなことであれば関われると思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

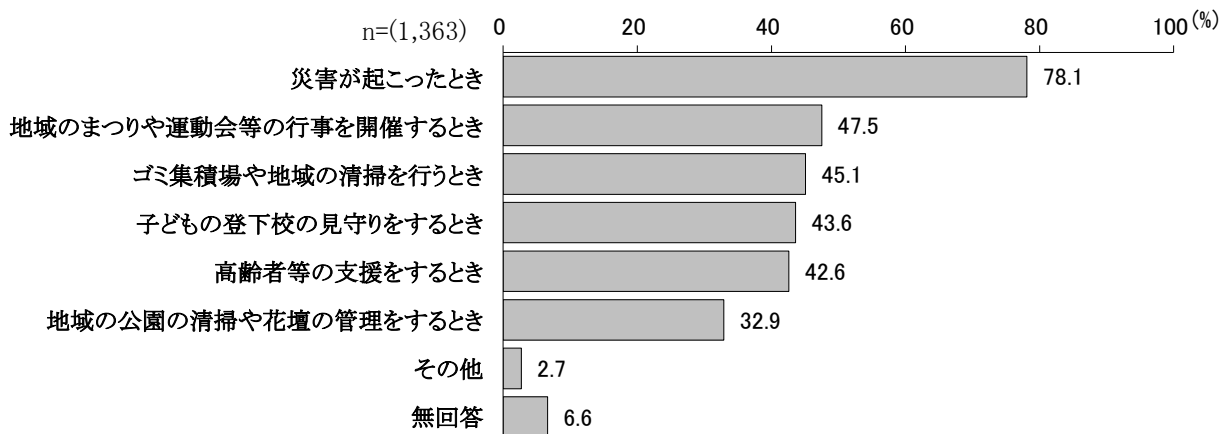
地域のために関われることは、「地域清掃等の町の美化活動への参加」が43.1%で最も高くなっている。次いで、「防災訓練への参加」が38.4%、「お祭りや運動会等のイベント運営の手伝い」が29.1%、「夜間パトロール等防犯活動への参加」が13.1%となっている。



#### (5) 自治会町内会を必要と感じる時

問23 自治会町内会をどんな時に必要と感じますか。(あてはまるものすべてに○)

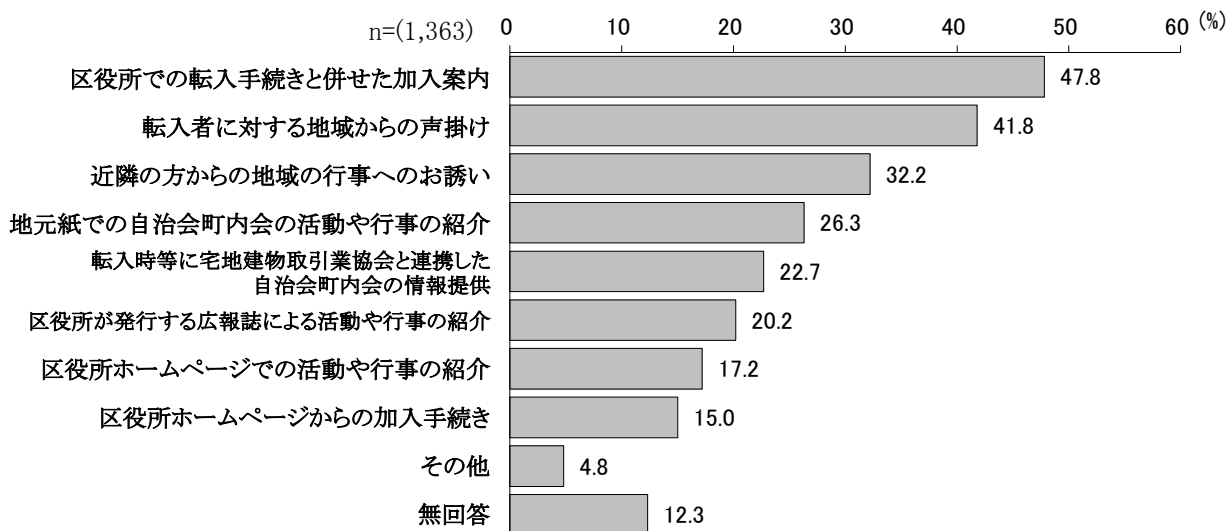
自治会町内会を必要と感じる時は、「災害が起こったとき」が78.1%と最も高くなっている。次いで、「地域のまつりや運動会等の行事を開催するとき」が47.5%、「ゴミ集積場や地域の清掃を行うとき」が45.1%、「子どもの登下校の見守りをするとき」が43.6%、「高齢者等の支援をするとき」が42.6%、「地域の公園の清掃や花壇の管理をするとき」が32.9%となっている。



## (6) 自治会町内会への加入促進に必要なこと

問24 自治会町内会への加入促進にはどのようなことが必要だと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

自治会町内会への加入促進に必要なことは、「区役所での転入手続きと併せた加入案内」が47.8%で最も高く、次いで「転入者に対する地域からの声掛け」が41.8%となっている。以下、「近隣の方からの地域の行事へのお誘い」が32.2%、「地元紙での自治会町内会の活動や行事の紹介」が26.3%となっている。

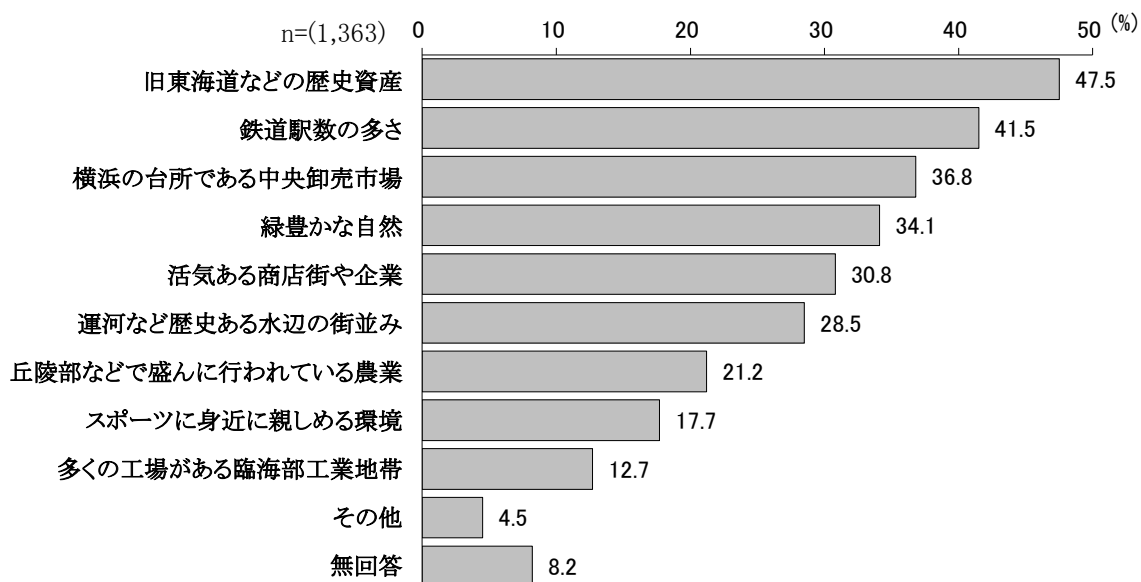


## 神奈川区の魅力について

### (1) 積極的にPRしていくとよい神奈川区の良さや特徴

問25 今後神奈川区の良さや特徴について、どのような所を積極的にPRしていくと良いと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

積極的にPRしていくとよい神奈川区の良さや特徴は、「旧東海道などの歴史資産」が47.5%で最も高く、次いで「鉄道駅数の多さ」が41.5%である。以下、「横浜の台所である中央卸売市場」が36.8%、「緑豊かな自然」が34.1%、「活気ある商店街や企業」が30.8%、「運河など歴史ある水辺の街並み」が28.5%となっている。



平成28年度 神奈川区 区民意識調査報告書 概要版 平成28年11月

---

## 横浜市神奈川区役所 区政推進課

〒221-0824 横浜市神奈川区広台太田町 3 - 8      T E L   045-411-7027 (直通)  
F A X   045-314-8890

神奈川区ホームページ <http://www.city.yokohama.lg.jp/kanagawa/>